

発行：山梨ゾンタクラブ
編集：山梨ゾンタクラブ
広報委員会



山梨ゾンタクラブ 会報

山梨にゾンタクラブ誕生！

会長 梅沢 幸世



山梨ではフルーツ初出荷の便りも聞かれる季節となりました。

昨年6月5日国際ゾンタ本部より正式に認証を受け世界で1939番目、日本では58番目のクラブとして活動することとなりました。私たちは親クラブの松本ゾンタクラブの皆様のご指導の下、結集いたしました。目的は、地域社会のために必要とされていることをしたいという思いと、自己研鑽でした。ほとんど初対面の仲間たちが話し合い、学びあいながら、バザーに里親サポートの勉強に、乳児院の施設のクリスマス会にと活動の場を広げていくことで、いろいろな体験と、学び、仲間との出会いとすばらしい時間を過ごさせていただけたと思っています。

これからも、この素晴らしい仲間とともに一步一步、歩んでいきたいと思ひます。

これからも諸先輩のご指導よろしくお願ひいたします。

山梨ゾンタクラブ チャーターナイト

実行委員長 中込節子

2015年11月8日 甲府富士屋ホテルにて、山梨ゾンタクラブ認証状伝達式及び祝賀会を、多くの来賓、全国の先輩ゾンシャンの皆様にご臨席いただき盛大に執り行うことができました。

SOMクラブ松本ゾンタクラブの皆様方の厳しくも、温かく愛情に満ちたご指導のもと、準備からチャーターナイト翌日のエクスカッションまで、会員一同一丸となり、時には涙し、時には緊張に震えて、何とかやり終えたという、今までの人生においては、およそ経験することのなかったであろうすばらしい体験ができたと思ひます。

祝賀会では、松本ゾンタの畑山先生の提案でまさかの梅沢会長の富士山コスチューム、皆様大いに喜んでいただきました。日本航空高校の生徒さんによる太鼓隊、ウイングエンターテイメントの皆様によるミュージカルもすばらしかったです。

ある先輩のゾンシャンに「人間としての成長の先にボランティアがある」という言葉を言っただき、心に強く残りました。

今後とも、会員一同一丸となって、明るく楽しく共に成長していけるようにと、努力していきたく思ひます。



エクスカーション・イン・山梨

佐藤 みつ子



河口湖オルゴールの森



富士山



久保田一竹美術館

チャーターナイトの翌日11月9日、希望者の皆様と一緒に河口湖方面へエクスカーションへ。曇り空ではありましたが、富士山に紅葉とまさに絶景。お昼にはほうとうをおいしくいただきました。帰りの車窓より、リニアの走行しているところも見られ、山梨の見どころがいっぱい詰まった小旅行となりました。車中和気あいあいで、またの再会を約束してそれぞれ帰路に着きました。

初めての
ドキドキバザー！

11/8
日本航空学園



メンバーと



バザー会場にて



松本ZCとの合同例会

河西 里江子

日本航空高校の滑走路全面の広い敷地にて甲斐市のワクワクフェスタが執り行われ、山梨ゾンタとしてバザーを出展しました。

初めての活動にドキドキ！会員の協力により有休品、手作り品等の様々な商品が集まりました。特に手作り品は窪田会員の指導のもとに会員全員でカゴ編みをしたり、萌木の村の船木社長のご厚意で花摘みをさせていただいて、ドライフラワーを作ったりと会員一人一人、一生懸命に準備し当日にのぞみました。

晴天に恵まれ、冷たい飲み物も好評。ポップコーンや五味会員手作りのケーキなども飛ぶように売れ、小さなお子様連れにも大変好評を得ました。松本ゾンタの皆さんも応援に駆け付けてくださり、アクセサリ等買っていただきました。おかげさまで午前10時より開始し午後4時の閉店前にはほぼ全ての商品が完売、収益も予想を上回り、うれしい悲鳴をあげることとなりました。

途中で松本ゾンタとの合同例会が執り行われたが、バザー中にて全員参加がかなわなかったのが残念でした。

集客力が高いイベントに参加できたことで、多くのお客様にゾンタの活動を知っていただく機会ともなった事が良かったと思います。

来期も続けていくことでゾンタクラブの活動の一助としていきたいと思います。

原藤 貴史

秋晴れの中、甲斐市ワクワクフェスタが日本航空学園の敷地内にて盛大に行われました。

たくさんの露店と日本航空高校の生徒たちによる多彩な活動、各種催し物など感銘を受けました。

準備の段階で遊休品集め、手作り品の作成、値札貼り、レイアウトなどに多くの時間を費やしましたが、みんなで協力し、売り上げたお金を寄付できる達成感が残りました。予想以上の売り上げがあり喜びもひとしおでした。

初めての開催ではありましたが、反省点、課題を生かし、寄付金をたくさん集められるよう来期に向けて準備していきたいと思いました。

子供達の笑顔にメリークリスマス！

雨宮 知帆子

きずな会里親の会のクリスマス会が「ゆーふる韮崎」にて行われ、山梨ゾンタの会員もご招待いただき参加させていただきました。お昼を挟んで温泉施設の休憩室大広間に里子17名里親25名、山梨県福祉課の方がたとゾンタ会員合計50名弱が集い、賑やかでした。

子供たちは1才から小4まで、とても明るく元気なお子さんばかりで、とても心が和みました。きずな会の小田切会長とお話をさせていただくなかで、里親を待っている児童が山梨県内に100名強。山梨県は「子どもは家庭で育てられるべき」という理念のもと、里親率の高い県というお話でしたが、現状はまだまだ足りていない状況にあるというお話を伺いました。

「子どもたちに夢を持たせたい」という話も伺いました。ゾンタとしてこれからどのような形で支援ができるか、また里親制度の実態を広く世間に知ってもらうことが大事ではないかと認識いたしました。

ゾンタとしても、今後の活動につなげていけるよう勉強していきたいと思います。

かわいいプレゼントにびっくり!

植松 治子

2015年12月24日（木） ひまわり乳児院にてクリスマス会が行われました。

施設に伺うと私たちひとりひとりにクリスマス会のプログラムの書いてある手作りカードをいただきました。あまりのかわいさに驚き、またクリスマスの赤いトンガリ帽子も用意してくださっていて、とても温かな気持ちとなり、施設を運営されている皆様の心遣いが感じられる出来事でした。

職員の方がたによる劇に始まり、サンタの登場で子供たちへのプレゼント（それぞれその子にあった違うプレゼントにびっくり!）山梨ゾンタからもささやかなプレゼントを差し上げ、喜んでいただけました。

その後、子供たちのかわいらしい歌、踊りを見せてもらった後、ケーキとジュースをいただきながら職員方や子供たちとも話をする事が出来ました。障害を持った子供が育児放棄され施設に預けられているという事例もあり驚きでしたが、施設としても母親との連絡を密にして家庭に戻す努力をされているという活動を知ることができました。

よく子供は3才までが大事と言いますが、肉親ではなくても、たくさんの先生方やボランティアの方にかわいがってもらえ、愛情をかけてもらえる環境は大事なのだと思いました。ただ3歳を過ぎて施設を出ていかなければならない現状を考えると、ひまわり乳児院の子供たちが幸せに生活していくことを願ってやみません。ゾンタとしてのささやかなお手伝いを続けたいと思った一日でした。



深沢 孝博

乳児院ひまわりクリスマス会に会員6名で参加しました。

スタッフの手作りのプログラム（クリスマスカード）に温か味を感じました。子供たちの元気なお遊戯会、スタッフの方による劇を見せて頂きました。子供たちとケーキを食べながら、親睦を図りました。

非常に驚いたのは乳児院に入所しなければならない子供がこんなに多いのかということです。それぞれに抱えている事情は違ふのだけれども、子供たちの屈託のない笑顔に癒されるとともに、子供たちに罪はない、少子化といわれる昨今、このような子どもを少しでも減らすことはできないのか、またこのような子どもも大切にちゃんと育てられ、社会に送り出すという事をしなければならないと痛感しました。

ひとり6ヶ月ぐらいの子供がこれから里親になる予定の母親と慣れるため、保育されている様子も見ることができ、この子に幸あらんと願うとともに、一人でも多くの子供が愛情をもって育てられる社会の構築にゾンタとして何かできる事はないかを考えさせられました。

手作りのプログラムに感動

感じました。

2016年3月13日

県防災新館1Fオープンスクエア
実行委員長 雨宮知帆子



第一回 ローズデーイベント

『子供の権利って何？里親サポート制度の現状と問題を知ろう』



第一回ローズデーイベントが「子供の権利って何？里親サポート制度の現状と問題を知ろう」をテーマに県防災新館1Fオープンスクエアにて行われました。山梨ゾンタクラブは、山梨県里親の会きずな会様とご縁をいただいで交流を重ねるなか、現状を更に学び、その問題点を探り、政策提言をしていく事を目的に、今回第1回のローズデーイベントとしてパネルディスカッション形式で開催される運びとなりました。

今回、何といたっても会員の中にこの問題に精通した衆議院議員の先生がいらっしゃることで、会員の人脈やつながりで、大勢の人を参集してするに至った事が山梨ゾンタらしいイベントになったと思います。会場は県の中央に位置し、立地的に最適でした。

パネリストとして、きずな会会長小田切様には現場の声、山梨学院短期大学教授の樋川先生には日本としての現状及び取り組み。衆議院議員のお二方の先生には政策政治から見た取り組み等をお話いただきとても有意義な会となった。児童養護施設出身都内在住会社経営清水孝広氏にもご参加いただき、「子供の権利って何!？」の問いに「無条件の絆」というひとつの見解を得ることができ、多くの参加者の共感を得たのが印象的です。

当日は参加者約100名強、里親の方、民生委員の方、地方職員の方など、広くご参加いただきました。又、事前にYBSラジオ、山日日新聞、UTYテレビのニュースなどマスコミでPR活動が出来、里親制度、またゾンタの活動を知らせていただく良い機会にもなったと思います。今後のゾンタの活動に大きくはずみがついたと感じます。

里親制度、及び支援については今後も政策提言を目的に取り組んでいきたいと思ひます。

～編集後記～



山梨ゾンタクラブが活動を始めてもう早いもので一年の月日が流れました。私たち広報コミュニケーション委員会としては第一回目の会報となります。奉仕アドボカシー会員委員の皆様のお借りし、やっと完成いたしました。一年の歩みを基にこれからも山梨ゾンタクラブの会員の皆様が楽しく元気な姿を写真に残して行きたいと思ひます。(広報コミュニケーション)

山梨ゾンタクラブ連絡先：

〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷445番地

Tel:(0551)-28-3355

Web：<http://yamanashizonta.jimdo.com/>

Facebookも見てくださいね！